

# 鶴岡市ボランティアセンターだより

鶴岡市内の学校と連携して行う  
「おもいやりの心」を育む学習



令和2年から続いているコロナ禍の影響で、学校での「福祉学習」も中止や縮小を繰り返しながらここまで来ています。そんな状況でも、今年度ボランティアセンターが関わって行われた学習が18回（9校）あります。

コロナ禍が続き、まだ多くの福祉学習サポーターに協力していただくことはできませんが、各学校と相談して講師と関係職員が工夫しながら取り組んでいます。

障がいがあっても活躍している講師の方々から、日々の暮らしのことを教えてもらったり直接会話ができる時間は、子どもたちの「こころのバリアフリー」を育ててくれています。

※上の写真は、花笠ほーぷ隊による「知的・発達障がいを理解する学習」の様子。

## 福祉学習で育まれる

## 「こころのバリアフリー」❤️



◁聴覚障がいがある講師から  
手話の挨拶や歌も学びました



▲全盲の講師とのオセロ対決や素敵なピアノ演奏、そして「ビリーブ」をみんなで合唱。2人の特技に子どもたちは超ビックリ～笑顔！



▲車いすで生活している講師の日常を知り、その後、車いすの介助や実際に車いすに乗る疑似体験。学校内のバリアとバリアフリー探しを行った学校もあった！



## 子どもたちの心にきっと「おもいやりの引き出し」が増えてくれたでしょう！

👂 目が見えなくても「カイト」や「ビリーブ」などをピアノでひけて、すごいと思いました。演奏をきいたら、心があったかくなりました。【小学3年男子】

👂 目が見えない体験をして、一人で歩くのは怖いけど、誰かに声をかけてもらおうと安心して歩くことができました。点字ブロックの上に物がおいてあると、進むのが大変だとわかりました。【小学3年女子】

👂 ぼくの将来の夢はタクシー運転手なので、耳が不自由な人がのったら手話で話せるようになりたいと思いました。【小学4年男子】

👂 障がいがあっても、いろいろなことにチャレンジすれば出来ることを知れたので、これからは差別をしないでやさしく手伝ってあげたいです。【小学4年女子】

👂 家に帰ってから、教えてもらった手話やクイズを家族にやってみました。父がわかってくれて答えてくれました。【小学4年女子】

👂 福祉について教えてくれてありがとうございます。ちょっとした段差でものぼるのが大変だったので、車いすの人はすごいと思いました。【小学4年男子】

👂 話をきいて、生活の中にはまだまだバリアがあるのだと思いました。実際に車いすに乗って見て段差や高いところはやっぱり不便でした。【小学5年女子】

👂 今まで、障がいがある人は何もできないから手伝ってあげなければと考えていた。でも、そうではなかった。出来ることがたくさんあり、特技もある。ただ出来ないこともある。だから、僕らは障がい者のことを理解しなければならないと感じた。【中学1年男子】

👂 花笠ほーぷ隊が教えて下さった「知的・発達障がい」は、覚えること等が苦手ですが、からかわれたりすると悲しい気持ちに…。でも、考えることや得意なことはみんなと一緒に。十人十色で様々な個性がある。すべての人が「障がい」を理解して差別というものがなくなればいいなと思いました。【中学1年女子】

